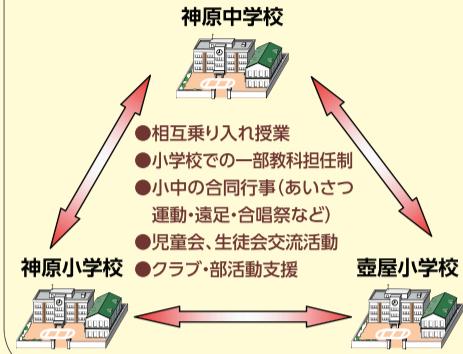


市の人口と世帯	
※( )内はうち外国人	
総人口	320,145(2,176)
男	154,443(1,081)
女	165,702(1,095)
世帯数	138,940(1,256)

住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)

- 生活習慣病の正体
- 島旅プレゼント!
- ワクチン接種の案内
- 外食の際には
- これまでないで
- うまい話・やさしいことばに、用心!
- 情報パック
- だまされないで
- 40年
- 6・7・5
- 4・3
- 2

## 神原中校区の小中一貫教育イメージ図



## 神原中学校長コメント

昨年度の先行的な取り組みを実践した率直な感想は、小中一貫教育は本当に良い取り組みで、本来こうあるべきだと実感したことです。これまで小中の教師の、子どもも達に対する見方や考え方は大きく異なっていましたが、今回、その垣根を下げ、両方の良さを取り入れるために何度も話し合いを重ねました。

小中一貫教育で大きく変わるのは、小中の教育目標が統一されるということです。教師の向かう先が一つになることで、子どもも達も戸惑うことなく一つのゴールに向かうことができます。これは確かな学力の定着につながり、子ども達が不安なく成長過程を歩むことにつながります。

明日を担う大切な子ども達のために、小中一体となって見守っていきたいと思います。

ます。

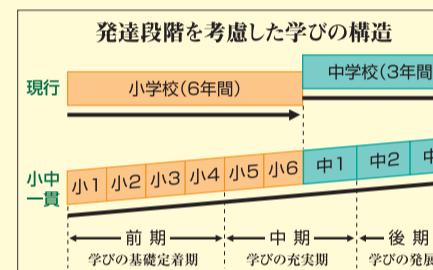
現在、小学校と中学校ではそれぞれのカリキュラム編成が行われ、学校の雰囲気や授業の進め方に大きな違いがあります。その環境の変化に適応できず、中学進学後に学習意欲が低下したり、不登校になるなどの問題行動が教育上の課題となっています。

そこで、小学校と中学校が一体となつて、義務教育の9年間でを目指す子ども像を共有し、子どもの成長に応じた学習指導、生徒指導を行うというのが小中一貫教育です。これにより中学進学時の不安を解消するとともに、確かな学力の定着を図ります。また、小中合同で学校行事を行なうなど、子どもたちの縦の交流を作り、尊敬や思いやりなどの豊かな心の育成、多様な人とのコミュニケーションによる社会性の育成もねらいとしています。

## 小中一貫教育って何?

## 授業はどう変わるの?

子どもたちの心と体の発達段階に応じて、大きく小1～4年生を前期、小5～中1年生を中期、中2～中3年生を後期として区切り、緩やかに移行しながら中学終了過程まで導きます。特に中期では、第2次性徴といった身体的変化が生じ、春期に差しかかる大切な時期でもあります。小学校で培ってきた教師と子どもとの人間関係や信頼関係を保ちながら、少しずつ教科担任制へと移行し、「学びの発展期」となる後期へつなげていきます。



4月から、市内3小中学校(神原中学校、神原小学校、壺屋小学校)で「小中一貫教育」がスタートしました。小中一貫教育では、小学校と中学校の9年間を一貫したカリキュラムで学習指導・生活指導を行い、中学進学時の不安を解消するとともに、確かな学力の定着を図ります。平成26年度からは順次実施校を拡大し、平成28年度までに市内全小中学校で「小中一貫教育」が行われるよう取り組みます。

## 始まるよ、小中一貫教育



お問い合わせ 小中一貫教育推進室 ☎891-3510

## 児童の交流



神原中1年 島袋希恵さん

一部の学校行事を小中一緒になって取り組み、交流の幅を広げることにより、豊かな人間性、社会性を育みます。

## 教師の交流



小中の教師が合同で研修を行い、学習規律の確立や授業改善に取り組んでいます。例えば、授業の始め方、発表の仕方、聞く態度、ノートの取り方を小中で共通させ、教師が同じ研究課題に取り組んでいます。特にノートの取り方では、自分の考えをしっかり持ち、表現できる子を目標に9年間かけて育てていきます。

## 授業

中学校教師が、小学校高学年を対象に、理科や英語、体育、美術などの乗り入れ授業を行います。



繁多川は、那覇市協働大使

の繁多川自治会会長波平元維さんです。



## Q 自治会の紹介

繁多川は、明治42年に字識名から分離し今年で103年目を迎えます。繁多川自治会で

繁多川は、カーヒラシー(井泉清扫)や「豆腐の月」(豆腐作り)、昔ながらの地域の行事「若水汲み」を復活させるなど子どもから大人まで参加できる活動を増やしています。

現在は、100周年の節目を記念して、繁多川の成り立ちや昔の地域の様子、文化財や旧跡、歴史や生活習慣などを分かりやすく記録に残し、読みやすい記念誌発行に向けて会員みんなで取り組んでいます。

## Q 「すぐりむん」推進

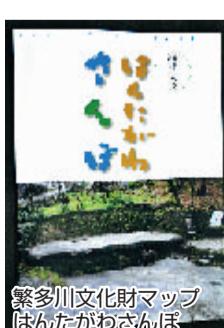
人はそれぞれ何か得意なことがあります。繁多川自治会では、その得意なことに「すぐりむん」認定をしています。例えば、繁多川の歴史に詳しい「ムヌシリ(物知り)」すりむん、地域の行事のデザインや企画などなんでもこ

## 繁多川すぐりむん

また、4月からウチナーチ講座が始まりましたので、今年中には、みんなで作製した地域文化財マップ「はんたがわさんぽ」でウチナーチでの「繁多川まーい」をさせたいですね。

## Q 今後の取り組みについて

自治会を地域のみんながいつでも気軽に集まつてこられるオアシスにしたいですね。



## 協働さん



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

## 第15回 繁多川自治会

お問い合わせ まちづくり協働推進課 ☎861-3846

「いい暮らしそよ、楽しい暮らしを」～人と人が支えあう協働により、心の豊かさを感じるまちを目指して～